

東北・関東地方大震災に対する福岡教区の支援について

上記大震災に関して、福岡教区民はカリタスジャパンや仙台教区サポートセンターなどの緊急支援の呼びかけに応じて、様々な協力を提供して下さっています。被災者への心からのお見舞いと今後の復興への支えと希望の一助になることを念じています。既にご存知と思いますが、ベネディクト16世教皇様や福音宣教省長官からもお見舞いのメッセージと共に義援金が届いています。

さて、去る3月21日に、司教顧問団、各地区の信徒の代表者、修道女連盟の役員、青年代表、関係部門の教区担当者などに集まって頂き、不安と困難な中で過ごしている被災者に対して、福岡教区としての支援対応の可能性を話し合いました。その結果、具体的な受け皿を確立した上で、被災者をホームステイの形で受け入れる方向で検討していくことが合意されました。福岡教区としては、その支援体制を構築して行く予定ですので、教区民のご理解とご協力をお願い致します。ホームステイ受け入れの募集やそのために必要とされる事項や条件などを後日配布しますので、寛大なご協力をお願い致します。

2011年3月22日



ドミニコ宮原良治
カトリック福岡教区司教 ドミニコ宮原良治